道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

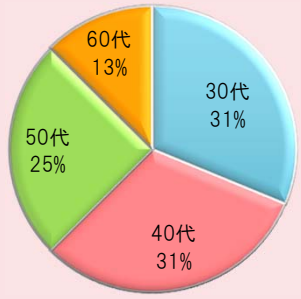
事業名	地区名	市町村	受益面積	受益戸数	採択年度	工期
畑地帯総合整備事業	斜里三井	斜里町	126.6ha	28戸	H20	H20～H23

工事内容			
土層改良			暗渠排水
客土	心土破砕	土壌改良	71.8ha
15.6ha	46.8ha	46.8ha	

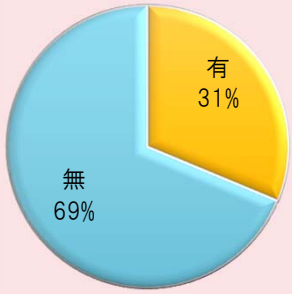
■アンケート回収率：１６／２８　＝５７．１％

Ⅰ　基本事項

年齢

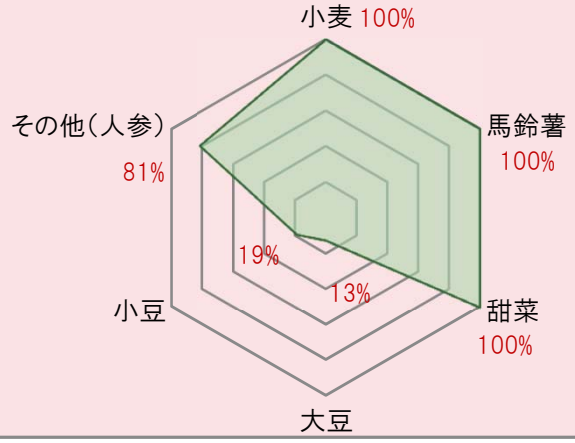


後継者



作付面積

生産作物



■年齢：:50代以上が38%

■後継者：後継者：31%が後継者有り。

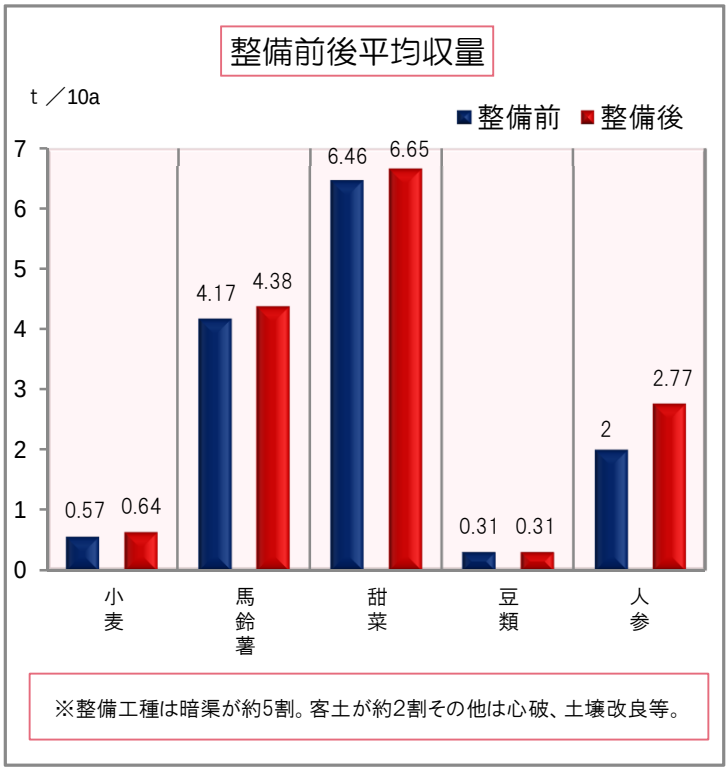
■作付面積：30ha以上が100%。

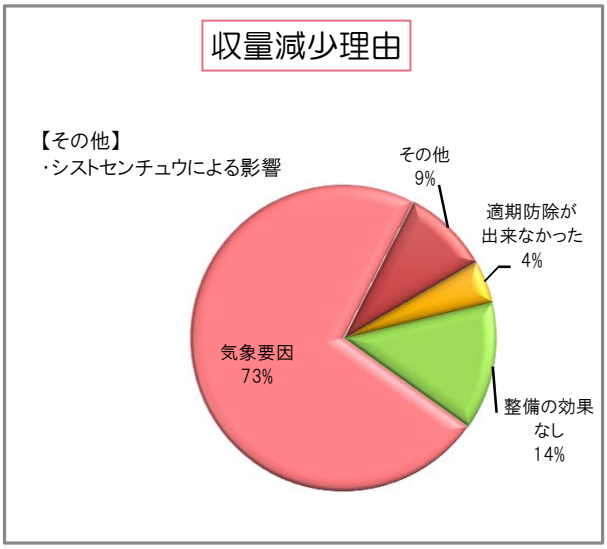
■生産作物：小麦、馬鈴薯、甜菜が100%の作付。畑作3品を主体とし、人参は約8割が作付。

道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

Ⅱ　事業効果

■１　収量効果：整備前の平年収量と事業整備後の平均収量及び収量が減少した場合の要因

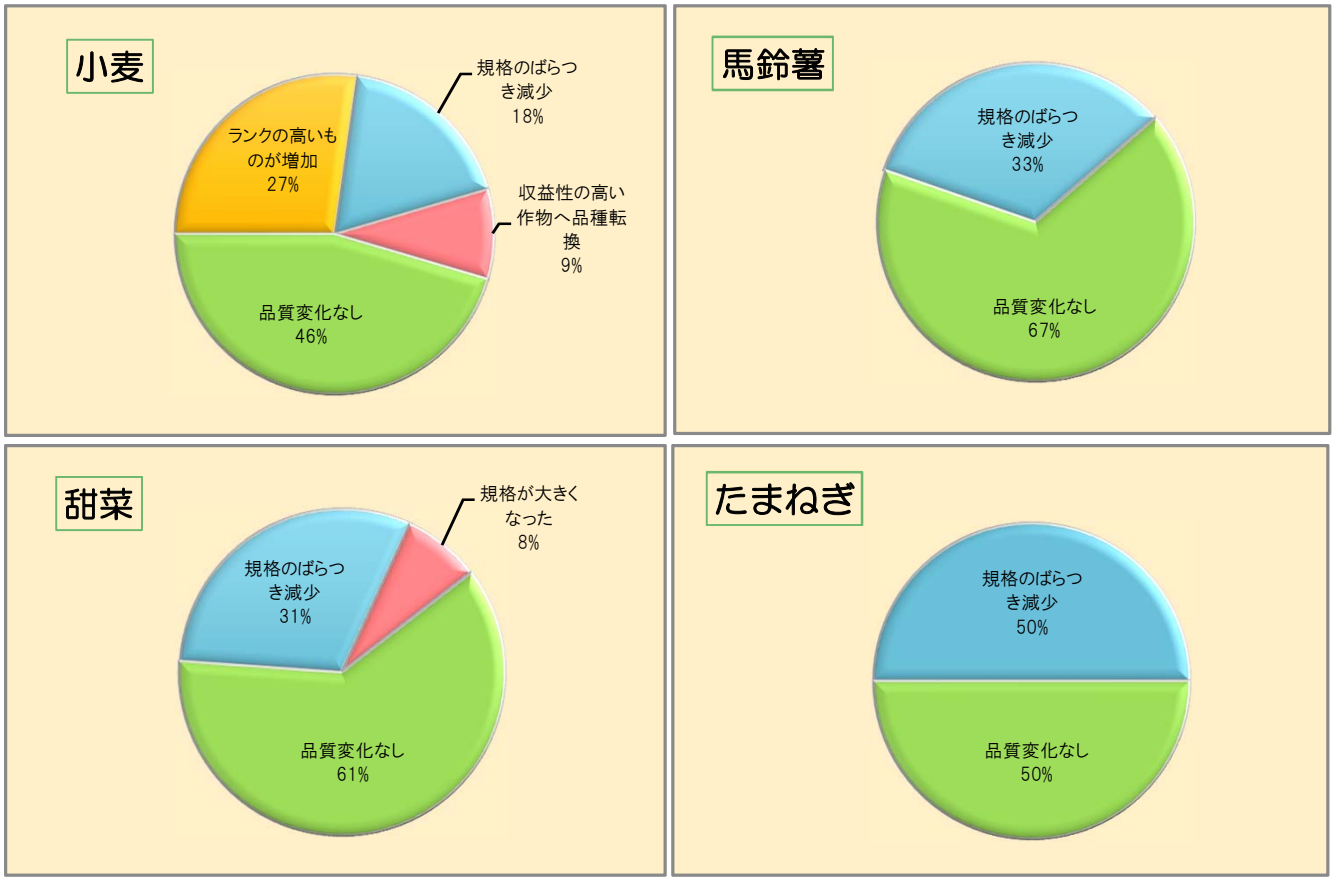




■収量は、小麦、馬鈴薯、甜菜、豆類で収量増加。

【気象要因減少理由】
・異常気象。

■２　品質変化：事業整備後の品質変化



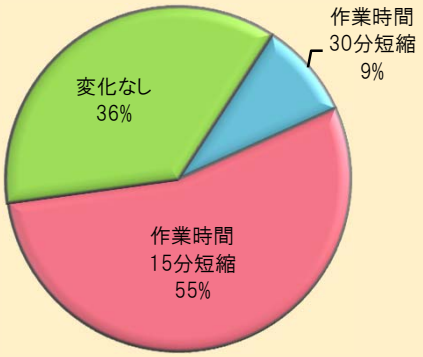
■小麦：約5割が品質の改善効果あり。
■馬鈴薯：約3割が品質改善効果あり。
■甜菜：約4割が品質の改善効果あり。
■たまねぎ：約5割が品質改善効果あり。

道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

■３　営農効率：事業整備後の営農効率の変化とその要因

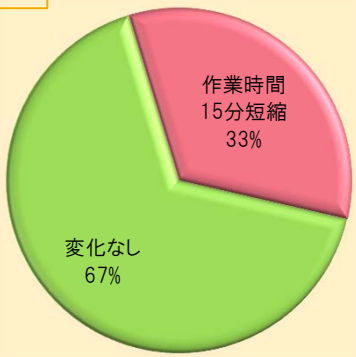
①営農効率変化
（※1時間当たりの軽減時間）

暗渠



客土

心土破砕



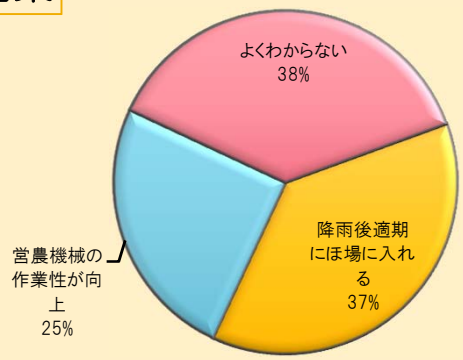
■暗渠：約6割が作業時間軽減.

■客土：作業時間軽減なし。

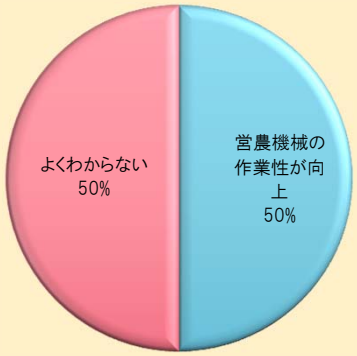
■心土破砕：約3割が作業時間軽減。

②営農効率向上の要因

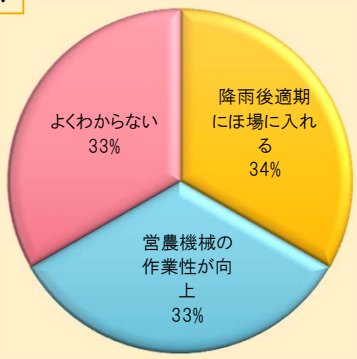
暗渠



客土



心土破砕



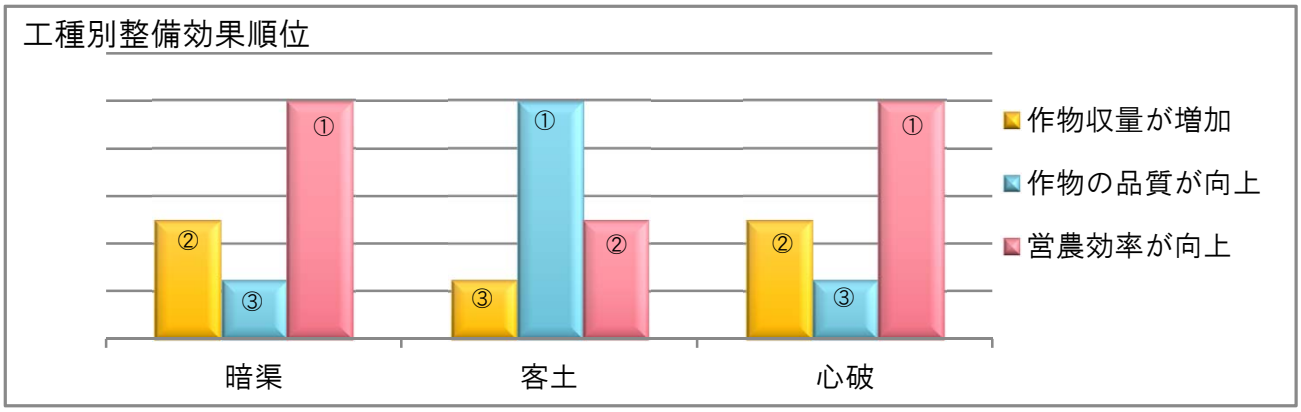
■暗渠：降雨後適期ほ場が約4割。

■客土：営農機械の作業性が向上が約5割。

■心土破砕：降雨後適期ほ場が約3割。

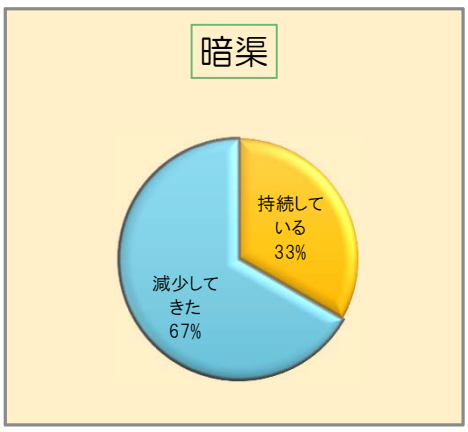
道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

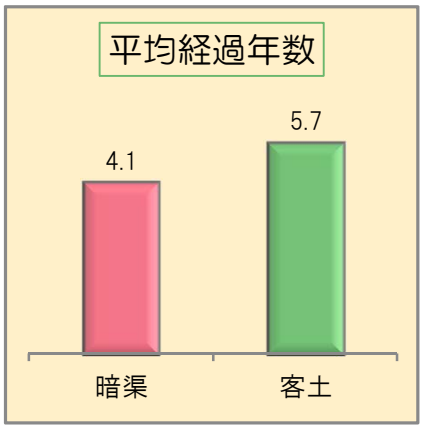
■４　整備効果：効果のもっとも高かった順位。



・暗渠及び心土破砕は、営農効率の向上が一番効果が高い評価を受けた。
・客土は作物品質の向上が高い評価を受けた。

■５　事業効果持続：整備経過年数と効果の状況。

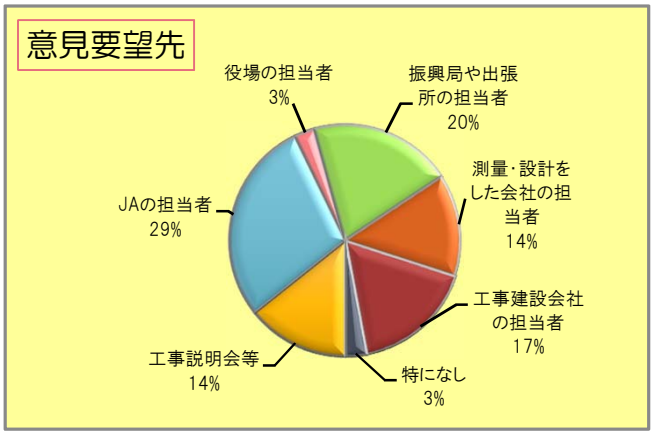




【減少理由】
■暗渠：近年集中的な大雨によって暗渠の能力を超えてるから。
■客土：浅いのか、水が流れない。

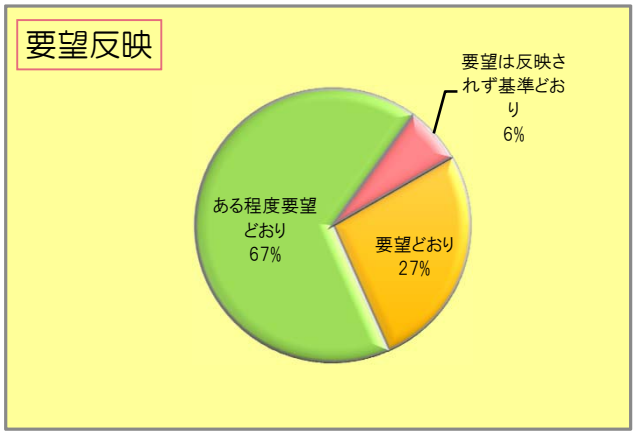
Ⅲ　工事内容

■１　工事に関しての意見要望先



■意見要望先は、JA担当者が約3割、振興局職員が約2割となった。

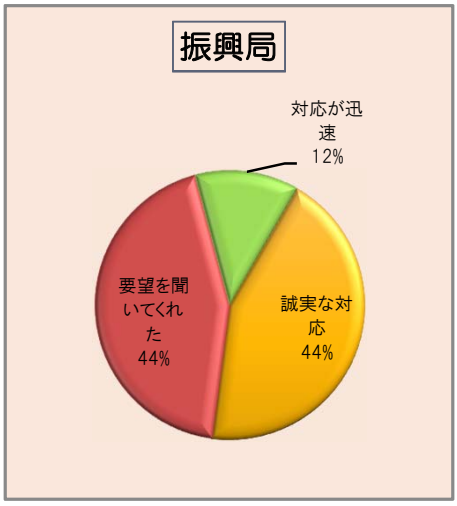
■２　工事への要望反映状況

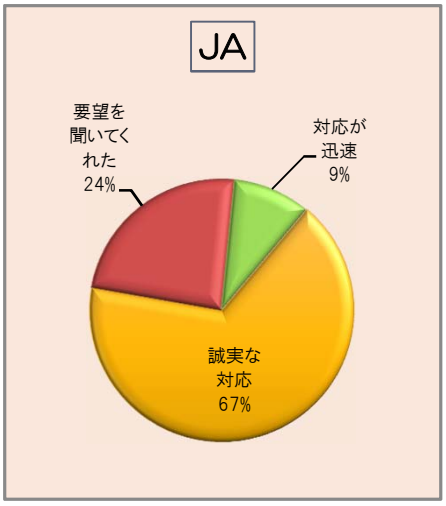


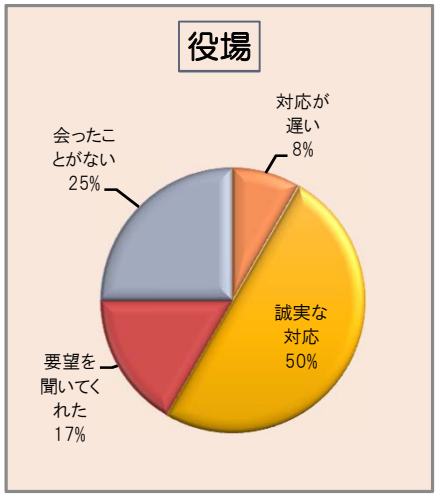
■要望の反映度としては94%との回答。

道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

■３　所属担当者の対応状況







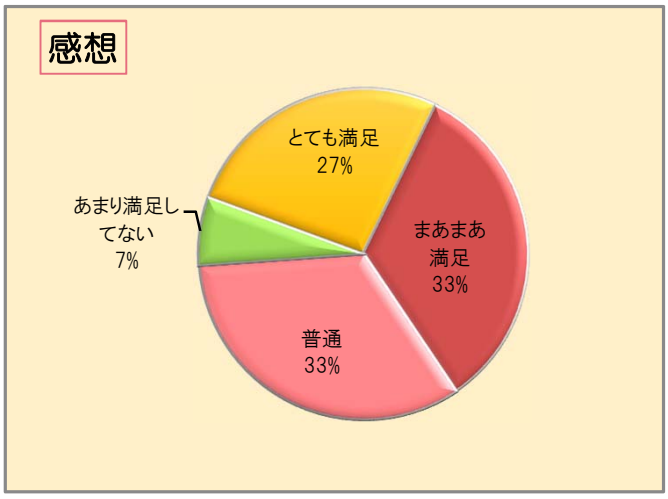
■対応については全体的に高い評価。
■役場の担当者に会った事がないとの意見があった。

■４　工事監督員対応評価

【良かった点】
・対応が早くて要望も聞いてくれた。
・説明がよかった。

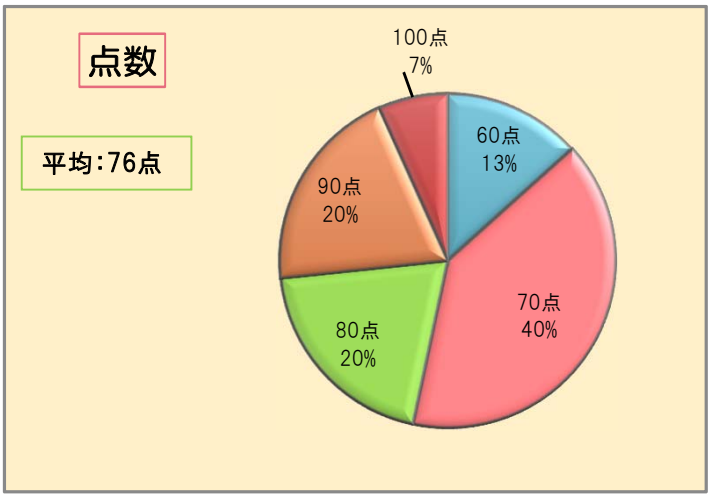
【悪かった点】
・特になし。

■５　工事の感想



■約6割が満足と回答。

■６　事業全体評価点数



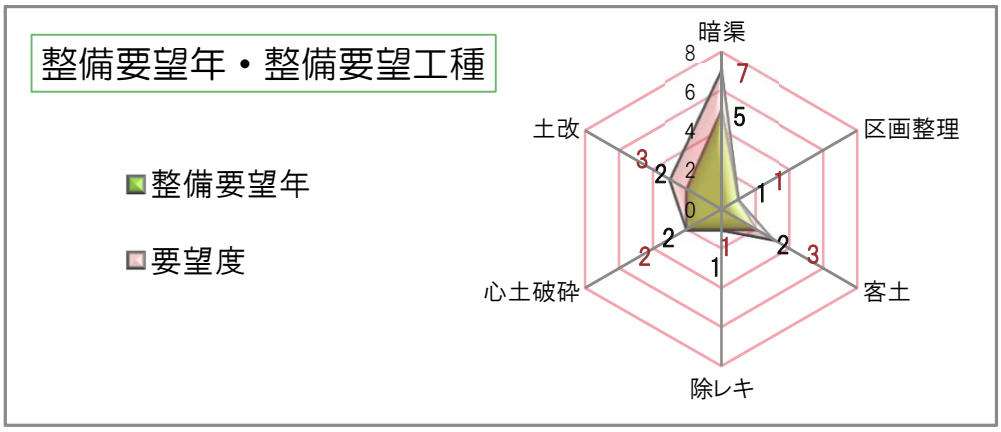
■平均点は76点の評価を受けているものの、いくつかの不満がみられた。
今後の事業実施に向けての課題があった。

道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

Ⅳ　今後の基盤整備要望について

■１　今後の事業参加

■２　整備要望・整備要望年



■今後の事業参加：100%参加要望。

■今後の整備要望工種：暗渠が7ポイントと整備要望が高い。客土、土改が3ポイント。
心土破砕の整備要望は2ポイントだった。

■今後の整備要望年：平均1～2年の後の整備を要望、暗渠の整備要望年は5年。

■３　今後、農業を持続していく上での課題

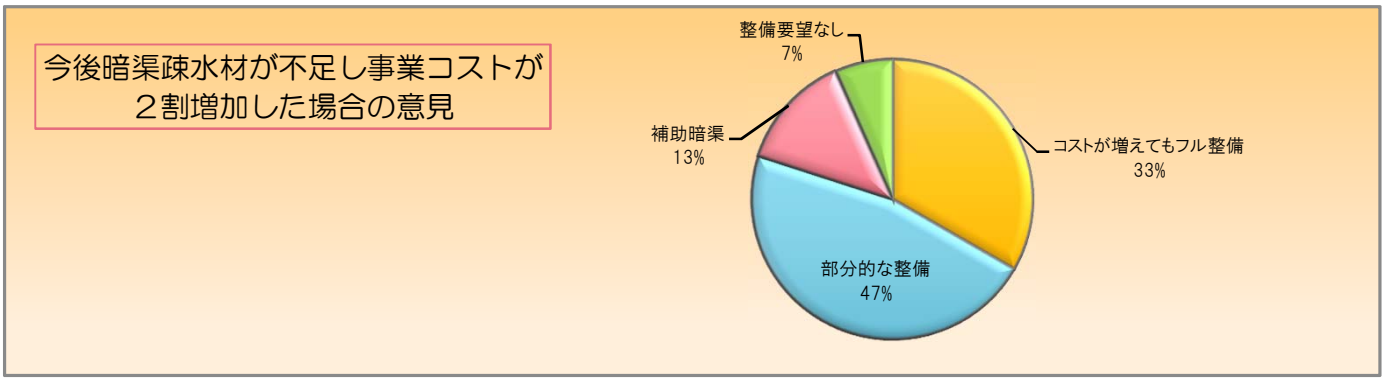
①営農で一番困っている課題

・TPPで先が見えない。
・経費がかかりすぎる。
・一部のほ場での水害。
・農政が安定せず、長期的に計画が立てずらい。
・営農資材が高い。油、肥料、農薬、生産諸資材等なんでも高い。
・土地整備は個人負担では高額なため、補助事業が必要だと思う。

②基盤整備による改善

・暗渠で改善される。
・土づくりなどの事業をたくさんしてほしい。

■４　今後の暗渠整備要望



道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査）

■5　今後の基盤整要望

・暗渠パイプのスパンを各自で決定できるようにしてほしい。

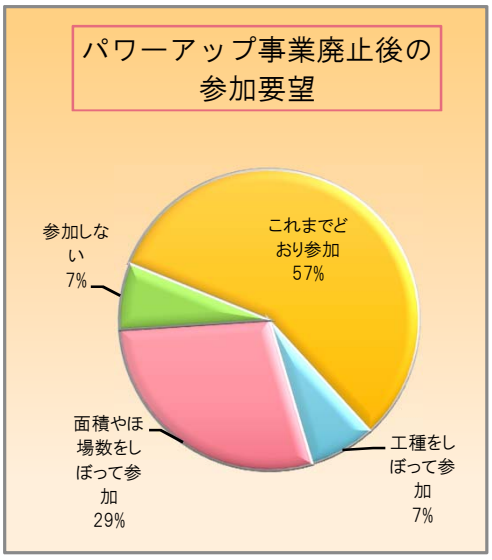
・暗渠をする場合はその土地によって深くしてほしい。

・事業費負担、抑えて暗渠を施工してほしい。

・暗渠の間隔が広いのでもう少し狭くしてほしい。

・客土をもう少し厚くしてほしい。

■6　パワーアップ事業参加



【パワーアップ事業に関する要望】

・今後も継続してパワーアップ事業を行ってほしい。特に今後農業政策でTPPになると農業の所得確保が困難になるため。

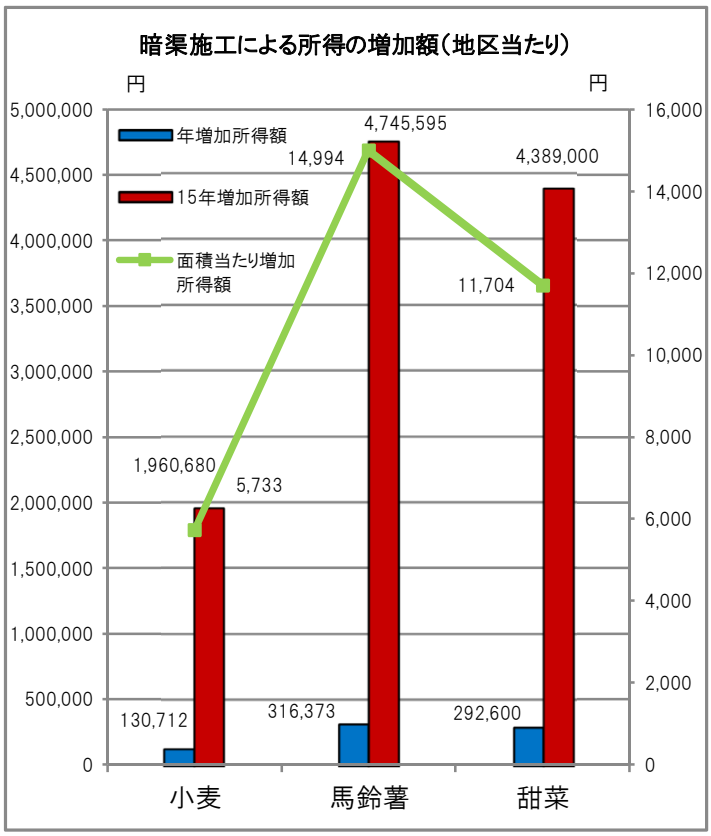
・国、道の事業費を少し多くしてもらい受益者負担を減らしてほしい。

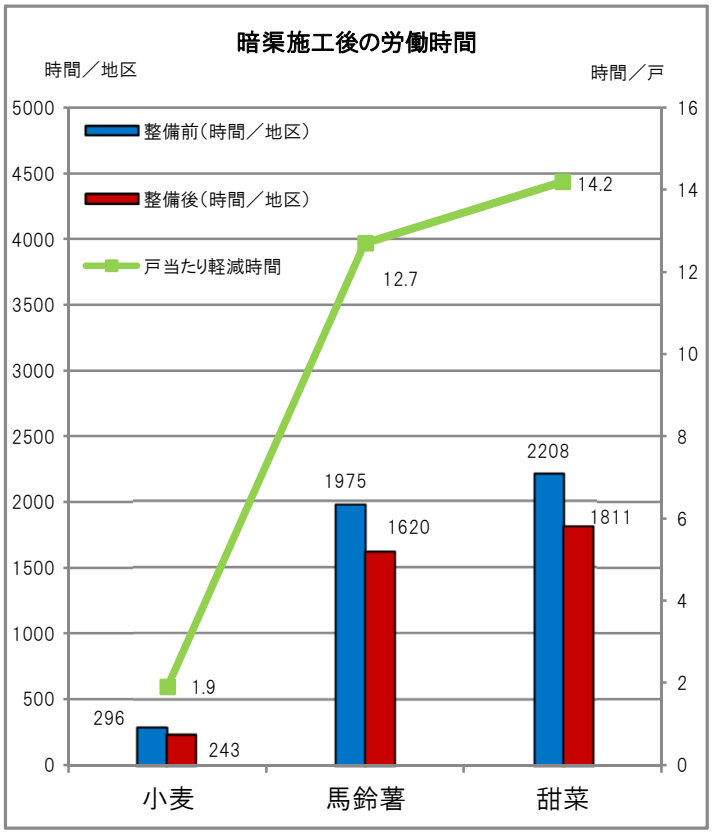
■7　全体をとおしての意見要望

・一般の業者で暗渠工事を行った場合事業で行った1/3程度の予算でできるので事業の予算をもっと精査して下げるべきだ。

道営畑総事業　斜里三井地区　事業完了アンケート調査(H25年　3月調査)

＜参考＞





作物	暗渠受益面積		平均増収量	販売価格	所得率	面積当たり増加所得額	年増加所得額		総労働時間	
	作付率	作付面積(a)					地区当たり	戸当たり	整備前	整備後
	(%)	① (ha)	② (kg/10a)	③ (円/kg)	④	⑤=②×③×④ (円/ha)	⑥=①×⑤ (円/地区)	⑦=⑥/66戸 (円/戸)	(時間/地区)	(時間/地区)
小麦	31.7%	22.8ha	70	21	0.39	5,733	130,712	4,668	296	243
馬鈴薯	29.4%	21.1ha	210	14	0.51	14,994	316,373	11,299	1,975	1,620
てんさい	34.8%	25.0:ha	190	11	0.56	11,704	292,600	10,450	2,208	1,811
計							739,686	26,417	4,479	3,674

■暗渠受益面積：作物別の作付面積は地区の平均作付率により算出。
■面積当たり増加所得額：作物別の平均増収量、販売価格、所得率により算出。
■年増加所得額：暗渠排水の施工により増加する地区全体の所得額。暗渠受益面積と面積当たり増加所得額により算出。
■15年増加所得額：暗渠機能効果が15年持続した場合の増加所得額で、年増加所得額を15倍して算出。
　※販売価格：小麦は秋まき小麦、馬鈴薯は食用馬鈴薯、豆類は大豆の販売価格を適用。
■総労働時間
　・整備前：畑・野菜複合経営30haモデルの総労働時間「2,189時間」を基に作物別のha当たり労働時間を算出　し、これと暗渠受益面積により整備前の総労働時間を算出。
　・整備後：「営農の効率変化」アンケート結果により、整備前の労働時間を約7割18%軽減させて算出。
　・戸当たり軽減時間：整備前と整備後の労働時間の差を地区の受益戸数「28戸」で除して算出。
（販売価格等はJA地域農業振興計画から引用）